

カラーユニバーサルデザイン推進支援講座 アンケート集計結果報告（3会場）

以下は、講座終了時に実施したアンケート(別添)問1～4の集計結果を問ごとにまとめたものである。まず3会場のアンケート回収率を、次いで問1～問4の集計結果を示した。最後に、講座に対する感想・意見を記述してもらう問3(自由記述)を開催日順、会場ごとにまとめた。

2025/01/16(木) 長久手市役所（参加人数15, 回答数14）

2025/01/29(火) 刈谷市保健センター（参加人数28, 回答数26）

2025/02/04(水) 武豊町役場（参加人数19, 回答数16）

1. 3会場のアンケート回収率

表1 アンケート回収率

自治体	長久手市	刈谷市	武豊町	全体
参加者数	15	28	19	62
回答数	14	26	16	56
回収率	93%	93%	84%	90%

2. 問1～問4の集計結果

■問1 あなたの所属部署はどちらですか。

会場	所属部署（ ）内は人数を示す
長久手市役所	安心安全課(1), 環境課(1), くらし文化部地域共生推進課(1), 建設部みどりの推進課(1), 収納(1), 情報課(1), 長久手市子ども部子ども家庭課(2), 福祉部福祉課(3), 福祉部長寿課(1), 保険医療課(2)
刈谷市保健センター	危機管理課(1), 健康推進課(12), 健康推進課成人保険係(1), 広報広聴課(1), 子育て支援課(5), 子育て支援課子育て支援センター(3), 市民課(1), 福祉総務課(1), 用地対策課(1)
武豊町役場	環境課(1), 企画政策課(1), 健康課(1), 建設部上下水道課(1), 社会福祉協議会(3), 生涯学習スポーツ課(1), 生活経済課(1), 秘書広報課(1), 福祉課(3), 防災交通課(1), 不明(2)

■問2 あなたは色覚について関心がありますか(一つにチェック☑を入れてください)。

- ・色弱や色覚（色の見え方）の多様性について、これまであまり意識したことがなかった
- ・所属する部署や関係部署に色弱の(あるいは色弱の可能性のある)同僚がいるため、以前から関心があった。
- ・自分自身また身近な親族等が色弱であるため、以前から関心があった。
- ・その他

表2 問2の3会場全体の回答(チェック数)

	長久手市	刈谷市	武豊町	全体
色弱や色覚（色の見え方）の多様性について、これまであまり意識したことがなかった	8	20	12	40
所属する部署や関係部署に色弱の（あるいは色弱の可能性のある）同僚がいるため、以前から関心があった。	0	1	3	4
自分自身また身近な親族等が色弱であるため、以前から関心があった。	0	2	1	3
その他	6	3	0	9
計（個）	14	26	16	56

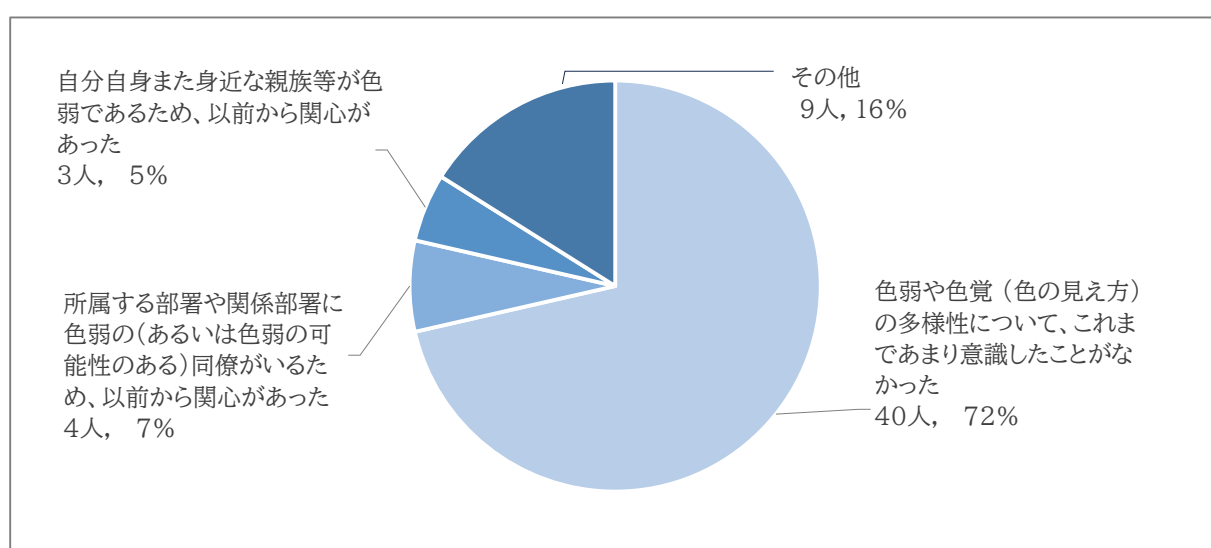


図1 問2集計結果

▼「その他」の記述

【長久手市】

- ・色弱の方は身近にいないが、いることは知っていたので関心がありました。
- ・人によって色覚が異なるという経験があり、興味関心があった。
- ・上記色弱の同僚がいること、子の通う小学校で色弱の検査があったため関心をもった。
- ・自分の見ている色と他の人が見ている色は本当に同じなのか（赤＝まったく同じ赤なのか）？「全ての人が違う色の世界をみている」んでは？と子どもの頃から思っていた。
- ・身近に色弱者がいるわけではありませんが、以前から関心があった。
- ・広報担当であった際より意識していた。

【刈谷市】

- ・以前、同僚（当事者）から指摘を受けた時から意識はしていたが、正しい知識はなかった。
- ・以前の所属で作った報告書でCUDを意識したことがあった。
- ・友人の一人がおそらく軽度の色弱であるため関心がありました。

■問3 今回の推進講座は、あなたにとって有益でしたか(一つにチェック☑を入れてください)。

- ・ひじょうに有益だった
- ・まあまあ有益だった
- ・普通
- ・あまり有益ではなかった
- ・意味がなかった

表3 問3の3会場全体の回答(チェック数)

	長久手市	刈谷市	武豊町	全体
ひじょうに有益だった	13	26	16	55
まあまあ有益だった	0	0	0	0
普通	1	0	0	1
あまり有益ではなかった	0	0	0	0
意味がなかった	0	0	0	0
計 (個)	14	26	16	56

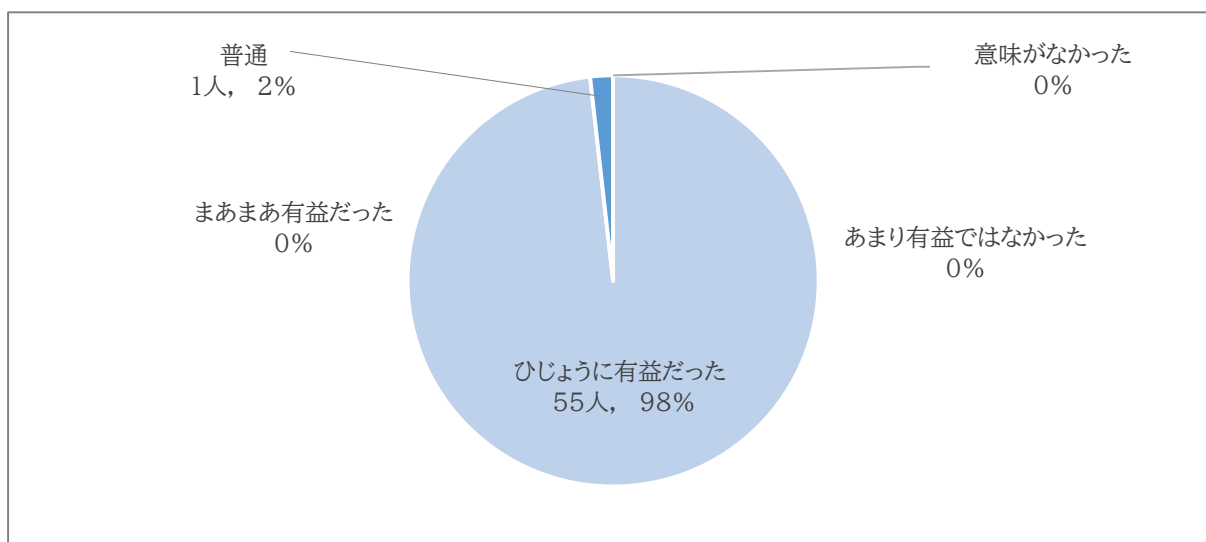


図2 問3にみるCUD推進支援講座に対する全体の評価

■問4 今回の推進講座の時間は適切でしたか(一つに☑を入れてください)。

- ・長かった
- ・少し長かった
- ・ちょうどよかった
- ・少し短かった
- ・短かった

表4 問4の3会場全体の回答(チェック数)

	長久手市	刈谷市	武豊町	全体
長かった	0	0	0	0
少し長かった	2	0	0	2
ちょうどよかった	11	26	16	53
少し短かった	1	0	0	1
短かった	0	0	0	0
計(個)	14	26	16	56

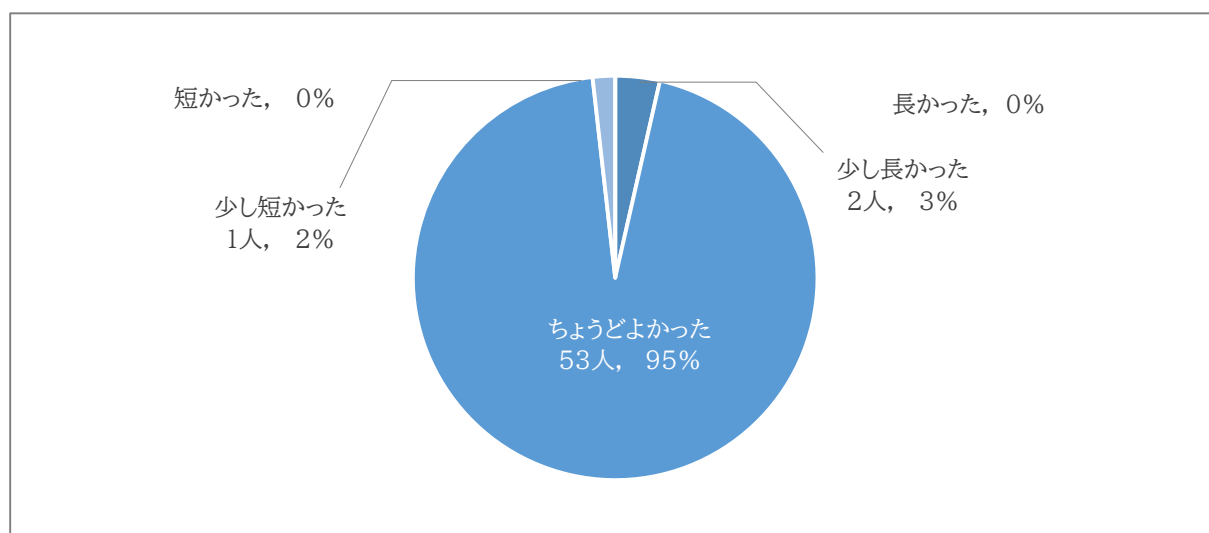


図3 問4にみるCUD推進支援講座の時間設定に対する全体の評価

3. 3会場の自由記述

■問5 その他の感想(本日特に印象に残ったこと、疑問をもたれたこと、今後どのような講座があればよいか等、自由にお書きください。)

実施日	会場	参加人数	用紙回収数
2025/01/16(木)	長久手市役所	15	14

- ・赤が見えづらいのは衝撃でした。危険の認識がバラついては大変だと思うので、多くの人に知っていただく必要もあると思いました。もっと自由に自分の障害や配慮してほしいことなど気軽に話せる職場環境になると良いなと思いました。
- ・今までこのような講習を受講したことがなかったので、とても勉強になった。外注、手作り含め、1年間に多くのチラシ等を発行・配布するので、作成の際には今回の講習で学んだことや気付きを生かし、誰にでも見やすい刊行物となるよう配慮したい。色弱の当事者の方のお話がうかがえたことはとても良かった。また同様の講習があれば参加したい。ありがとうございました。
- ・オンライン手続を推進していくにあたり、見え方がどうなるか気になったので参加した。「赤」が強調する色だと思って利用していたが、黒と同じに見えてしまい、大事なところが伝わりにくくなっているものがあることにおどろいた。今日の内容をもとに、市民に周知する際にはツールを使い、確認して発信できればと思った。
- ・仕事柄、市民の方へ「伝える」ことが多い。その中で、どのようにしたら一人でも多くの人に伝えられる

色づかいを行えば良いかということがわかった。学んだことを仕事に活かしていきたい。

- ・色弱が具体的にどんな色が見えにくいのか、どれくらいの人数がいるのか、その困り事は何なのか全く知らなかった。色の違いが分かりにくいことを実際に資料で見せていただいたり、色弱の方のお話を聞くことで生活の中での困り事のイメージが付きやすかった。今後は発行物を見やすく工夫をしていきたいと思った。
- ・色の組合わせのある資料を作成し、見えやすい資料だろうかと確認したい場合は、白黒印刷してみるというですとお話いただいて、ものすごく参考になりました。色の区別ができなくても、下線を引いたり枠で囲うと良いとうかがって、これから取り入れていこうと思いました。
- ・多くの市民の方が日常的に活用しているだろう、ごみカレンダーに見づらい部分があったことがわかり、反省しました。少しでも意識をもつことで、改善できると気がつきました。
- ・色弱の方の見え方を念頭におきながら、なるべく多くの方がストレスを感じない誌面を作成できるようにしたい。色、明度、デザイン、サイズなど総合的バランスを考えたい。大きさも影響ありなど。乱筆乱文申し訳ありません。本日はありがとうございました。
- ・赤が目立つわけではないこと、黄色がよく目立つこと、色の濃淡が大切ということ、デザイン性を損なわずにCUDができるということ、白黒印刷機能が有益であること、色のシミュレーションアプリを知れたこと。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても有益な勉強になる講義をありがとうございました。少なくとも全ての職員が把握できると考え方も意識も変わるかなと思いました。本日はありがとうございました。
- ・自分が見ている見え方と異なる見え方の人がいると実感できた。少しの工夫で様々なハンデを持つ人が見やすく、わかりやすくなるのだなあとと思った。
- ・見やすい配布物を作る際に、自分が認識していたことは配慮が足りなかったことに気付きました。また常識のとらえ方、色覚的なこと以外にも、きめつけていたのではないかと反省しました。これからいろいろなことに、もっと柔軟性をもちたいと思います。
- ・本日の講座、大変勉強になりました。ありがとうございました。まさか赤がこんなにも見えづらいとは思いませんでした。“自分が良いと思ったことも、他の人にとってはそうではない”ということを今回改めて考えさせられ、心にとめて生活、仕事をしていきたいと思いました。

実施日	会場	参加人数	用紙回収数
2025/01/29(火)	刈谷市保健センター	28	26

- ・男の子5%色弱者ということで、クラスで1人くらいは見え方が違うとうことがわかりました。生活や遊びの中で十分に配慮できていなかったと感じました。ぜひ他の職員にも共有して知識を広げていきたいと思いました。大変有意義な時間をいただき、ありがとうございました。
- ・自分は、目立つと思っていた配色が実は色弱者にとってそうではなかったという気づきが多くありました。また色について「何色のチラシ」と言って案内していたので、対応する際には色以外の情報を組み合わせ伝えていきたいと思いました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。
- ・“致命的な経験”エピソードを聞いてみたかった。ととてもとても有意義な時間でした。
- ・CUDについて今回初めて勉強させて頂きました。赤と黒の識別ができなくて、強調したいのに赤字にしていたにもかかわらず全く意味をなしていなかったことにおどろきました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・色の見え方について話にはきいていましたが、本日の講義を受講し、想像以上のちがいに正直とても驚きました。大変勉強になりました。ありがとうございました。周りにも広めていきます。
- ・3歳児健診で「好きな色どれ?」「何色?」「赤色どれ?」と色を聞くことがありますが、色覚が異なる児

にとっては自分が赤色と思っている色が異なる場合があると分かりました。健診では赤・青・黄みのですが、児と関わる中で、赤が赤とっていない児、その色を赤として覚えていく児もいると頭に入れておきたいです。つみ木以外でも意識したいです。

- ・色弱の方にとって、どのように見えるのか知りました。強調するために赤は使用頻度が多いのですが、黒にしか見えず別の方法を検討していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・目立つ色として“赤”という意識がずっとあったが、色弱の方にとっては逆に目立たない色になっていることが衝撃でした。今まで意識していなかった、気づかなかったことが大変多くあり、今後、誰にでも分かりやすい掲示・案内作りを心がけたいと思いました。
- ・色覚のことを意識して作成をしたことがなかったのですが、今回の講義で割と目立つ印象の赤や緑が見にくい、強調に使用されていても分からないということを体感しておどろきました。目立たせたい部分には白ぬき、枠、黄色などで何度かためしてみても、すべての人が見やすいものを使用して作成したいと思います。3歳児健診で色の判別も検査しますが、色が分からない時に色弱によるものなのか色自体知らないのか2パターンあるなと思いました。
- ・どうしても赤色を目立つ色として使いがちだったが、その認識をあらためないといけなと感じた。
- ・色覚異常ということは知っていましたが、今までどんな見え方をしているのかについては知る機会がなかったもので、スライドで見え方を知ることができたことがとても良かったです。赤と緑が同じように見えることや、赤が黒く見えること、赤字は白抜き文字で目立たせるとよいという、実際に業務で役立つ方法が学べました。今後の業務ですぐ生かしていきたいと思います。
- ・日本人男性の20人に1人は何らかの色弱があるということにおどろきました。色に頼らない方法の説明や色以外の表現方法を考えたいと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・目立たせたいところ、注意喚起したいところは赤色でという固定概念がありましたが、アプリやメガネで実際に体験したところ、全く目立たないということがわかりました。今後のチラシやポスター作りの際には、今回学んだことを意識していきたいです。
- ・実際に色弱者の見え方を体験したことで、ここまで大きく見え方が異なるとは思っていなかったもので、非常に有益な時間を過ごすことができました。今回の経験を業務にも活かしていきたいと感じました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。色弱について実際に当事者の方ともお話ができ、深く知ることができました。まだまだ知識のない方もたくさんみえると思うので、ぜひこのような講座を受ける機会がたくさんあるといいなと思いました。
- ・自身が作成したものを持ち寄って、具体的に改善点などを見つけることができて良かったです。中にはすぐに直せるものもあったので、改善してより良いものをつくることができるといいなと思いました。
- ・今まで色覚について意識することがなかったため、大変有意義な時間になった。初めてこのような研修を受け、色だけの強調の仕方だけでなく色々な方法で工夫をすべきという学びができた。配布物等、見直したい。
- ・今までの自分の意識(強調には赤が一番)という考えは全てではないのだと認識でき、大変有益でした。また赤を利用するのであれば、RGBで調整するとよいと思いました。配布する封筒にも色別で違いを用いているので、色弱の方への対応をして「黄色」等表示しておく事も大切だと思いました。大変よい研修でした。ありがとうございました。
- ・大学の授業等で色弱に関する知識はありましたが、どれくらいの程度で見えにくいのか、何色が分かりやすいのか等は知りませんでした。今回の講義で分かりやすい色、さらに色ではなく言葉で伝えようとする意識が重要であることが分かりました。
- ・ハザードマップ作成時にアプリを使って長時間かけて色を決めましたが、今日の講座で意識すべき点についてとても参考になりました。また現状ハザードマップの課題をグループで共有し、講師の方にご意見いただいたことで今後の修正に活かすことができると思います。ありがとうございました。
- ・以前の所属で作った報告書でCUDを意識したことがあった。このように以前の仕事のことがありましたが、意識していたと思っていましたが、まだまだ理解が全く不足していたことを痛感しました。紙の

色については目からウロコでした。「ピンクの用紙の○ページの通り…」とか、「水色の封筒に…」などと日常的に使っており、これはすぐに改善したいと思いました。C型もD型もP型も皆が見やすい判断しやすい色づかいを心がけたいと思いました。本当に為になる講義でした。ありがとうございました。

- ・自分自身が色弱のため、これまで困ることは多々ありましたが、C型の方々がどのように見えていて、どのような意図で配色していたのかを知ることができたことは有意でした。市役所の中にも私と同じように当事者はいると思うので、パンフレット等がCUDに配慮されているかチェックするという役割を担えるのではないかと思います。
- ・何気なく強調として使っている「赤色の文字」、窓口や電話での案内の際に「ピンク色の紙」など、実は分かりづらいものであったと実感として理解することができました。アプリもダウンロードしたので、確かめながら業務を考えていこうと思います。本当にとても良い勉強になりました。
- ・実際に使用すべき色の設定を教えていただいたので、すぐに活用できると思いました。また自分たちが現在使用しているリーフレットを検証したことで、より身近な物で考えることができ、理解が深まりました。
- ・色の見え方に関して、色の違いや配色など今後の市民サービスに活かしていけるようにしたいと思います。また色弱の方にも見え方について実際に話をうかがえたのも貴重な経験となりました。ワークもみなさんと話し合って意見をいいあえたのも良かったです。
- ・今回講義をうけさせていただき、赤はめだつ色、強調したい時に使用していましたが、実際メガネをかけてしてみると「えっ!?!」と思いました。見にくくさせている、戸惑わせていることも多いのかなと思いました。今後は、色合いや封筒の色の名前や数字を書く等の配慮をしていきたいなと思いました。とてもよい講義でした。ありがとうございました。

実施日	会場	参加人数	用紙回収数
2025/02/14(水)	武豊町役場	19	16

- ・福祉の機関などで万人が情報をとらえたりできるよう意識していきたいと思った。
- ・どちらかと言うと雰囲気伝えるために色に頼りきりで言葉を省くことをしていたと気付いた。見え方がちがうという視点を忘れずに意識していきたい。今回は新しい発見もありつつ、色覚に限らずだれもが分かりやすい表現方法にもつながると感じた。
- ・色相の円グラフがわかりやすかった。実際にどのように見えるか体験しながらの講座だったので理解が深まった。今後チラシや印刷物を作成する際に、新たな視点が加わった。色、明暗、字体、構成などチラシへのご意見ありがとうございました。
- ・デザインと伝えたいことを分けて、デザインはC型の人がわかるように作ってもらえばよいというお話があり、分けて考えれば複雑に考えなくても意識して実践していけるかなと思った。
- ・色弱の方へ配慮した色づかいについて、気にしていたけれど知識がなく、自分の好みの色を使ってチラシなどを作成していました。これからは濃淡や白黒印刷した時にしっかり見えるかなど、色に頼りすぎないチラシづくりを心がけたいと思いました。
- ・今まで色弱者の存在は知っていたが、それを意識して色づかいをしたことがなかったので、とても勉強になりました。強調したい部分はとりあえず赤を使ってしまっていたが、今後気を付けていきたい。
- ・広報を担当しておりますが、わかりやすく赤文字にしていた部分がわからなかったり、色合いの明度差をもう少し意識して、これからの制作に生かしていこうと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・一番良かったのは当事者の意見を聞けたことです。実際の広報物を見ていただき改善点を提案してもらえたのは非常に有益でした。今後もぜひ研修を充実してほしいです。講師を始め研修にたずさわっ

た皆さん、ありがとうございました。

- ・言葉を目立たせるために「赤字」を使用する事が多々ありますが、全く意味がない事が分かりました。各種計画、チラシ、ポスター作成には色のシミュレーターを活用し、より良いものを作って参りたいと思いました。講義ありがとうございました。
- ・色にこだわりすぎない、“伝わる”にこだわってデザインするのが大切だと思った。
- ・意外と今までの作成物に問題がなかった。文字のまわりを囲う等気をつけていきたい。メガネをかける体験は初めてだったので、多くの人に体験してほしい。
- ・マイノリティに配慮していくことの大切さというのは常に念頭に置いておきたいものですが、自分にとっての見やすさがどこまで相手に通用するのかを改めて考えることができました。自分の親とも色の感じ方が違うことがあるので、多くの視点で見やすさを今後も検討していきたいです。
- ・今まで資料を作る際に、赤色を用いて強調していたつもりだったが、色弱の方にとってはすごく見にくいものになっていることがわかった。色をたくさん使いすぎるとわかりにくくなってしまうため色を少なくしてシンプルなデザインにした方がいいことがわかった。
- ・紋切り型の講義ではなく、多岐にわたるチェック方法、対処方法を紹介頂けた事が有用であり、実効性を高められる期待が高まった。
- ・一番身近にできることは明度のコントラストづけだと思うので、シンプルにして、明度の違いを付けるようなデザインにしたチラシづくりを心がけたい。

カラーユニバーサルデザイン推進支援講座 ワークシート集計結果報告（3会場）

以下は、講座終了時にアンケートとともに記入してもらったワークシート(別添)問1～3の集計結果を問ごとにまとめたものである。

■問1 次のうち、あなたが以前から存在を知っているものにチェック☑してください。



赤	黄赤	黄	緑	青	赤紫
7.5R 4/15	2.5YR 6/14	2.5Y 8/14	10G 4/10	2.5PB 3.5/10	2.5RP 4/12
8.75R 5/12	5YR 6.5/14	7.5Y 8/12	5G 5.5/10	2.5PB 4.5/10	10P 4/10

JIS 安全色(下段が改正後)

避難情報等	色	R G B 値	備考
警戒レベル5 警戒レベル5 緊急事態	黒	12, 0, 12	完全な無視と見間違えする可能性があるため、わざと色味をつけている。
警戒レベル4 警戒レベル4 緊急事態	紫	170, 0, 170	
警戒レベル3 警戒レベル3 緊急事態、避難準備・避難命令(緊急)	赤	255, 0, 0	赤や黄との区別をしやすくするため、やや暗めに調整している。
警戒レベル2 警戒レベル2 緊急事態	黄	242, 231, 0	白との区別をしやすくするため、やや濃いめで、微かに調整している。
警戒レベル1 早期注意情報	白	255, 255, 255	

大雨警戒レベルの配色

ガイドブック

表1 問1の3会場全体の回答(チェック数)

	長久手市	刈谷市	武豊町	全体	%
参加者数	15	28	19	62	
回収数	14	26	11	51	82%
愛知県障害福祉課「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」(2018年2月発行)	1	1	0	2	4%
経済産業省 安全色及び安全標識に関するJIS改正(2018年4月20日公表)	0	0	0	0	0%
内閣府(防災担当) 大雨警戒レベルを示す5色の統一的使用の推奨(2020年5月29日公表)	6	4	5	15	29%

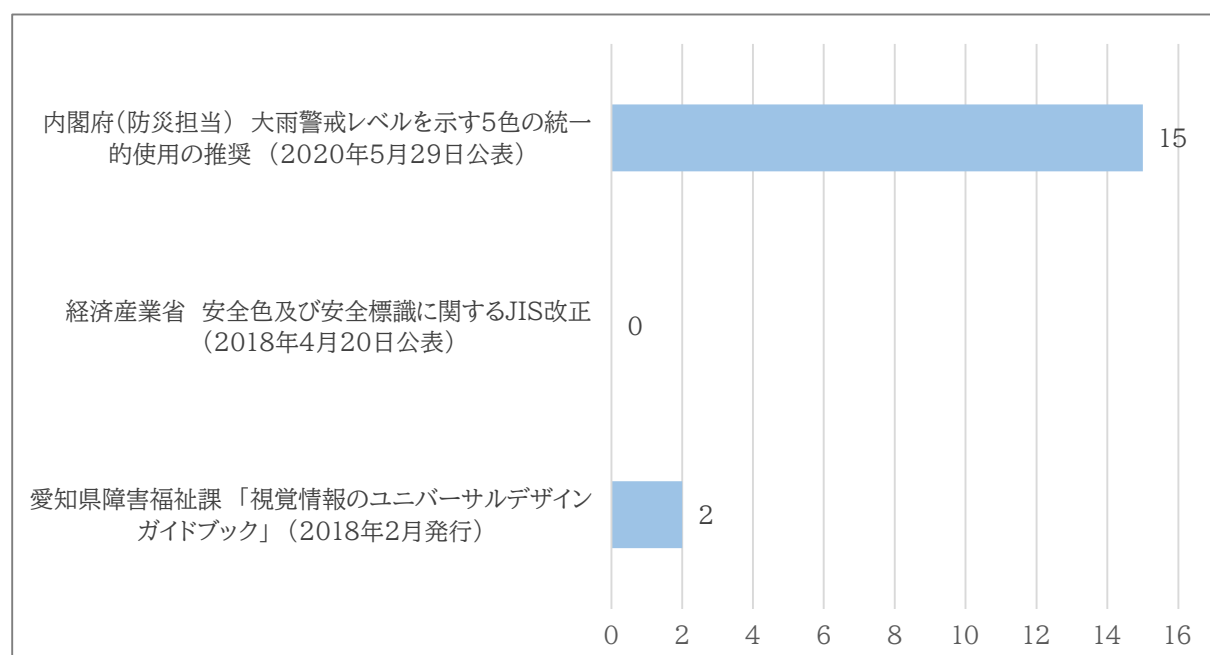


図1 3会場全体における3種資料の知名度

※愛知県障害福祉課発行の「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」(2018年2月発行)を知っていると回答した者

がわずか2人であることに留意したい。

■問2 あなたがこれまでに取り組んできたCUD活動(CUDに対する意識や行動)を具体的に記入してください。

【長久手市】

- ・チラシ作成の際に、目立たせたい文字の大きさを変えるようにしていました。
- ・白黒で印刷することが多いので、濃淡を気にすることがあったので、これはCUD的にも良かったと思います。
- ・計画等(ガイドブック)作成時に配色に気をつけました。
- ・今まで考えていた認識の誤りが多すぎて驚きました。
- ・すみません、ありませんでした。赤が目立つだろうと危険度が高い部分や字を赤にしていたのですが、あさか赤が見づらいことを知り、ただただおどろきと反省です。
- ・自分の学生時代の教師が色弱と聞いていたので知ってはいたが、何か取り組んだことはなかった。今日の講義を意識して今後活かしたい。
- ・いろいろな色覚の方がいらっしゃることは理解していたつもりでしたが、具体的に行動したことはありませんでした。これから取組めます。
- ・作成した計画を白黒ベースにし、白黒のみの状態でも図表、グラフの差異がわかるようにした。
- ・色味にメリハリをつけたものにする(濃淡をつける)
- ・字の大きさにメリハリをつけたものにする(濃淡をつける)、字の大きさのメリハリをつける、文字に下線をつける、太字にする。
- ・特に意識したことがなかった。今日の学びを今後いかしていきたい。

【刈谷市】

- ・自分が当事者のため自分が見やすいよう心がけてきました。
- ・色覚の課題については聞いたことがありましたが、このような取組みは知りませんでした。
- ・特に意識できませんでした。
- ・今まで意識してこなかったです。すみません。
- ・今まであまり意識していなかった。ポスターの見やすさは考えていたが、あまり深くまで考えていなかったです。
- ・報告書の作成時に知人の当事者の方にチェックしていただきました。
- ・地震ハザードマップの修正(今日の講義で課題があったのでさらに修正します)。
- ・赤や緑は分かりにくいという知識があったので、なるべく避けるようにしていました。
- ・今まで意識したことがなかった。
- ・広報誌の作成時、凡例の色を色のシミュレーターを使って確認した。
- ・色弱の意識がこれまであまりなく、実際に何か行動したりすることがありませんでした。
- ・これまでCUD活動に関して意識したり取組んだりした経験がなかったので、この経験を機に取組んでいきたいと思っています。
- ・あまり意識していませんでした。
- ・申し訳ありません。ありません。
- ・庁内のポータルサイトの改善
- ・今までCUD活動ができていなかったので今後活かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

【武豊町】

- ・取り組んできたことがなかった。今日の講義を機会に興味をもっていきたい。
- ・なし

■問3 今後、あなたやあなたの市町村に必要なCUDの取組みは何であると考えますか。以下の項目から、優先したいモノ・コトを3つ選び、該当するものにチェック☑を入れてください。

- ・あまりできていなかった。意識していなかったと反省しました。色に頼りきりがちでした。これから意識してやさしい表現をしていきます。
- ・特に取り組んでいない。
- ・あまりこれまで意識してきませんでしたが、CUDについて聞かれたことがあり参加しました。自分で調べようとすると難しかったのですが、今回の講義はわかりやすかったです。
- ・内容をほとんど存じあげなかったので特にありません。
- ・おたよりのカラー(タイトル)を青と白にすることを意識しました。色弱の方は青、白のコントラストが見やすいという知識を持った方がいたためできました。
- ・色のシミュレーターアプリを確認したうえで冊子づくりをした。
- ・今まで特に意識して取り組んできたことはなかった。
- ・明暗の差、色は最低限3色か。色弱の方にも通常の色覚の方にも目を引けるデザインを心がける。
- ・発行物や資料に実際に色のシミュレーターを使ったり、モノクロ印刷で見やすいかを確認している。青色が一番見やすいと思うので、青ペンを使うようにしている。
- ・色弱者の存在は知っていたが、意識して取り組んだことはなかった。

表2 問3の5会場全体の回答(チェック数)

	長久手市	刈谷市	武豊町	全体	%
行政刊行物・パンフレット・チラシ等の市民配布用の印刷物や、ポスター・デジタルサイネージ等の公共施設用掲示物の色づかい(文字・グラフ・地図等の色づかい)	14	26	11	51	100%
職場内部向けの掲示物やプレゼンテーション資料の色づかい	3	12	5	20	39%
ホームページの色づかい	6	10	6	22	43%
施設の案内サインやトイレ個室のドアノブ窓等の色づかい	9	11	7	27	53%
職場の備品の色選択(筆記具、保管分類用ファイルのカラーバリエーションへの配慮)	0	1	1	2	4%
色の名前に頼らない言葉づかい	11	21	6	38	75%
その他(具体的に記入)	0	0	0	0	0%

「その他」の自由記述

- ・視覚障害の方にサービスの説明をする際に赤色を使っていたので色を変えようと思いました(長久手市)

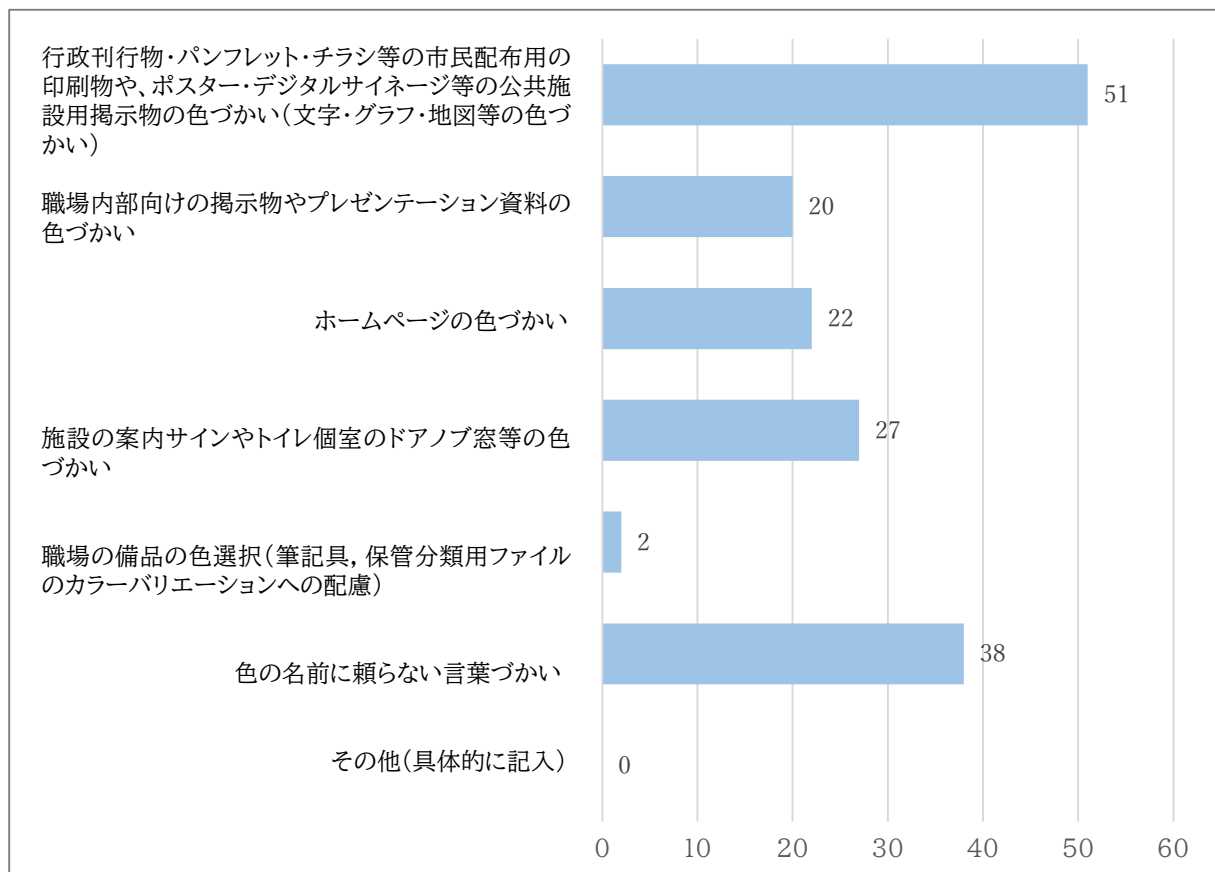


図2 3 会場において優先したいものとして選ばれたCUD

以上
(2025/02/25 作成)